

2023 年 10 月 3 日
株式会社三菱総合研究所

三菱総合研究所、サウジアラビアの国立研究開発機関“KACST”と 協力覚書を締結

日本とサウジアラビアの共同研究プロジェクト組成、スタートアップ支援に向け連携強化

株式会社三菱総合研究所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:簀田健二、以下 MRI)は、サウジアラビアの国立研究開発機関であるキングアブドルアジズ科学技術都市(King Abdulaziz City for Science and Technology、以下 KACST)と、10 月 1 日、「科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム(STS フォーラム)」第 20 回年次総会の機会に、協力覚書を締結しました。この協力覚書に基づき、両者は日本の企業、研究機関等と KACST との共同研究プロジェクト組成支援のほか、日本のスタートアップ企業の中東地域での事業機会探索等を推進します。



左から MRI 理事長 小宮山宏、KACST 総裁 ムニル・エルデソーキ氏、MRI 代表取締役社長 簀田健二

1. 背景

サウジアラビアは、2016 年 4 月に「サウジ・ビジョン 2030」を発表しました。その中では、石油依存経済から脱却し、多様な産業での包括的経済発展を目指し、人材育成、民営化、外資誘致、市場開放等で大規模な改革方針を示しています。KACST はサウジアラビアに多数の研究所・研究開発センターを有する研究開発機関であり、国内外の組織と連携して同国における研究開発、イノベーション(技術革新)を促進することで、科学・技術の側面から「サウジ・ビジョン 2030」の実現を後押ししています。2020 年 2 月にはバイオや宇宙、人工知能(AI)などの先端技術(ディープテック)系のスタートアップ企業を育成するため、「ザ・ガレージ」という名のインキュベーション施設を立ち上げました。

MRI は国内外における企業、大学・研究機関、政府機関の研究連携促進や、研究開発プロジェクトのマネジメント、スタートアップ企業の支援に取り組んできました。2022 年 10 月に行われた MRI 理事長小宮山宏と KACST のムニル・エルデソーキ総裁との会談を皮切りに、こうした経験や日本国内の幅広いネットワークを生かし、日本の企業、大学・研究機関、政府機関等と KACST との研究連携強化のあり方を模索してきました。

2. 概要

本協力覚書では日本、サウジアラビア両国における研究開発、イノベーション促進のため、次のような活動において協力関係を強化します。

1. 日本の企業、大学・研究機関、政府機関と KACST との協力を実現するための方策検討
2. 上記の活動を通じた日本の企業、大学・研究機関、政府機関と KACST との共同研究プロジェクトの組成
3. 日本のスタートアップ企業の「ザ・ガレージ」への誘致
4. サウジアラビアにおける科学技術に関する国際会議の開催を検討

3. 今後の予定

MRI は、今回の協力覚書締結により、上記の活動を中心に KACST と今後の協力の具体化を進め、日本、サウジアラビア両国における科学技術発展への貢献を目指します。

【参考】KACST について

1977 年、サウジアラビアにおける科学技術振興を目的とした独立研究開発機関として、前身組織である SANCST(サウジアラビア国立科学技術センター)が設立され、1985 年に現名称に改名しました。1987 年には国際科学会議(ISC)にも加盟しました。KACST は環境、エネルギー、医療等の 16 分野¹を中心に以下の活動を行っており、同国のムハンマド皇太子(兼首相)も KACST を重視し、多大な期待を寄せています。

- 国内外の研究機関²との連携による研究所・研究開発センターの設立、技術開発
- 研究プロジェクトの助成や人材育成等による研究開発促進
- スタートアップ企業のインキュベーション等を通じたイノベーション促進
- 国家レベルの研究開発・イノベーション支援計画の策定

本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所
〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

【内容に関するお問い合わせ】

海外事業本部 中川、中村 メール: saudi_innovation@ml.mri.co.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

グループ広報部
メール: media@mri.co.jp

¹ エネルギー、水、石油・ガス、鉱物、先端材料、医療、ICT、農業、建築・建設、輸送・物流、環境、航空、宇宙、防衛・安全保障、核化学、応用物理学

² 主な海外連携先として、NASA、マサチューセッツ工科大学(MIT)、スタンフォード大学、Intel、IBM など。